



写真 No. 3

北面全景

オレンジ色の線から左側は
今回施工対象外です。



写真 No. 4

今回の雨水の侵入箇所は丸
で囲んだ箇所と推測しま
す。



写真 No. 7

瓦の状態も生地が見え交換することをお勧めするサインが出ています。

現地でもお伝えした通り。松枝様邸の既存瓦は淡路島の陶器瓦ですが、当時の焼成温度が 1,000℃を下回っていたためこのような瓦の剥離状態が起こっています。現在は 1,150℃程度で焼成されているためこのようなことにはならないと想定しています。

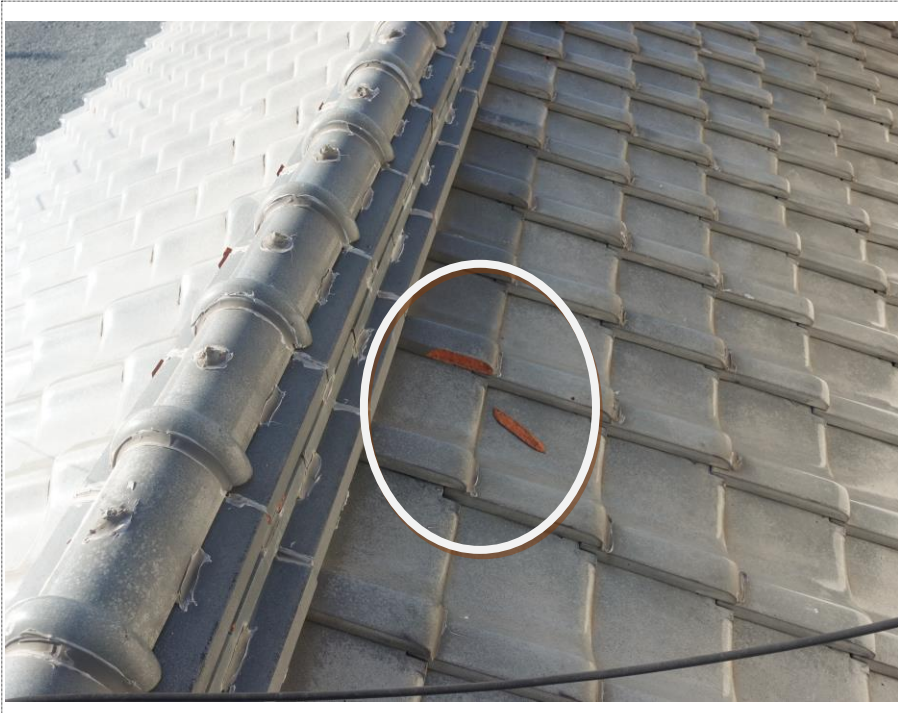


写真 No. 8

反対側にも瓦が剥離したような同じ状態の箇所があります。



写真 No. 9

「屋間谷」と言われる家といえを繋ぐ板金部ですが、塗装の跡が確認されました。

しかし、一部錆びも確認され、再度塗装をするか交換するかどちらかをご検討してください。劣化が進むと激しく雨漏れをする部位になります。



写真 No. 10

塗装前が浮き出ている写真。分かりにくいですが錆びも確認されました。



写真 No. 1 1

見積り項目にあがっている
取り合い板金と言われる箇
所等になります。谷交換時
等には附帯工事として必要
になります。
見積りの参考程度に確認し
てください。



写真 No. 1 2



写真 No. 1 3

「流れ谷板金」

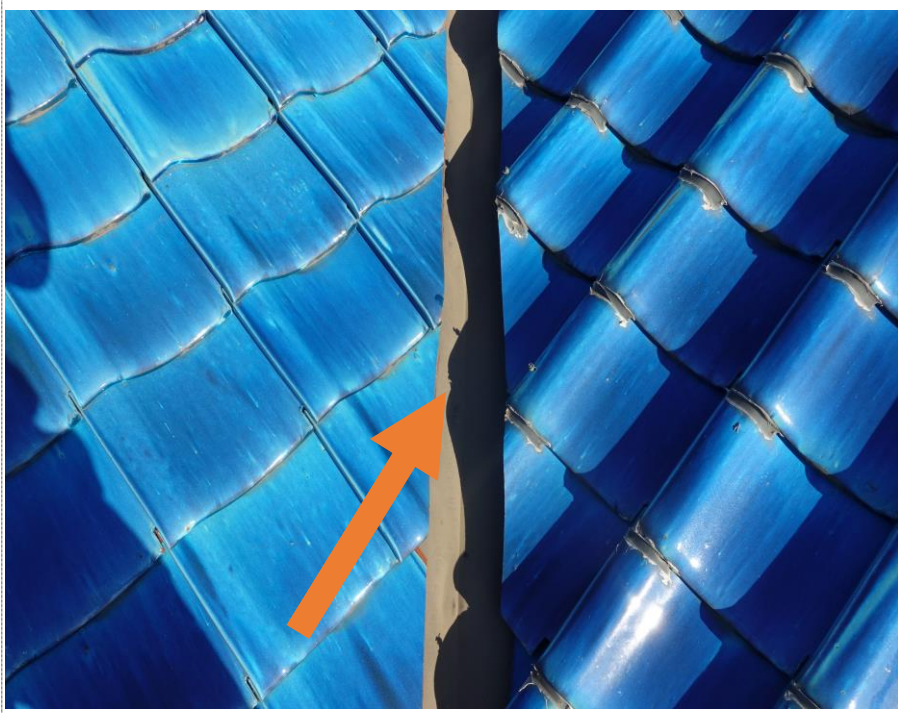


写真 No. 1 4

錆び・孔などの損傷は認められませんでした。不要なら見積りから外して下さい。

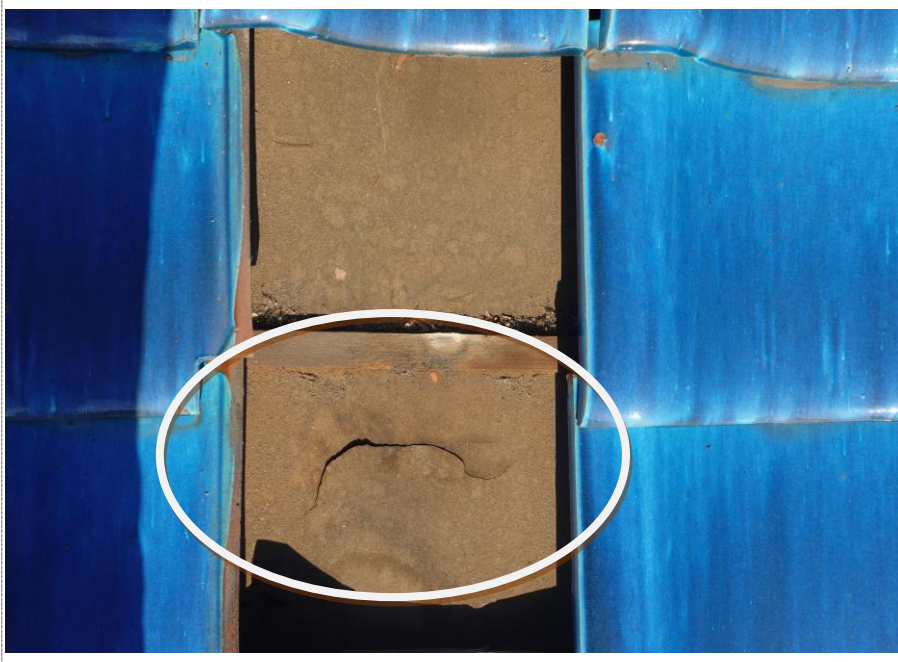


写真 No. 15

下葺き材の状態

劣化が進み切れています。
いたる箇所にあると想定し
ます。

二次防水の品質の確保は雨
漏れの状態に繋がる重大瑕
疵になるので交換を強く勧
めます。

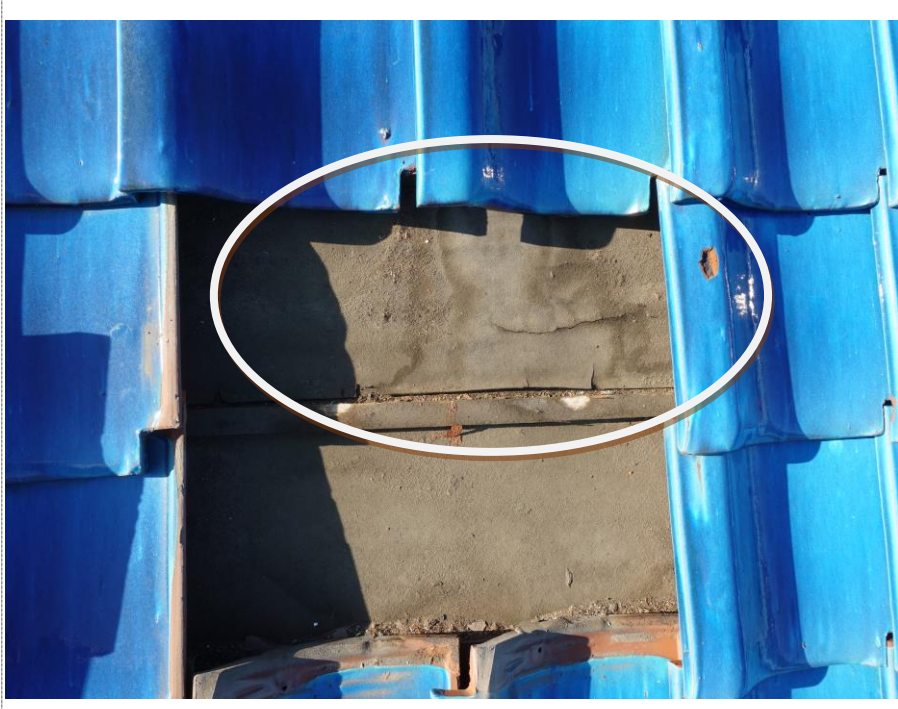


写真 No. 16

雨水が浸入した跡が確認さ
れました。

写真 No. 17



写真 No. 18



東面の明かり採りからも漏水の報告が良くされますが、今回の調査では異常は認められませんでした。
○で囲んだ箇所から雨水が浸入することがあります。
おおよそ20年程度が目安。